

# CONTENTS

---

巻頭言 第21回国立医科大学図書館会議および

第43回国立大学図書館協議会総会に出席して

(附属図書館長 川生 明)

開館時間の変更について(お知らせ)

雑誌の動き

図書館資料の現況

図表(統計)で見る図書館サービス

Web版OPACの使い方

OPAC Q&A

新着図書案内

編集後記

## 第21回国立医科大学図書館会議および第43回国立大学

### 図書館協議会総会に出席して

附属図書館長 川生 明

この7月の初め横浜で相次いで開催された標記会議に、目下初心者の若葉マーク付き図書館長が出席して参りましたので、館長の理解できた範囲内ですが、会議の様様を簡単にご紹介いたします。

医科大学図書館会議は7月2日、ポートヒル横浜で開催され、全国12校の館長、教務部長、図書課長が集まって協議が行われました。私が出席した午後の会議の主要テーマは図書館機能の高度化に対応していかんして優秀な職員を育成し、確保するか、更に事務機構の整備を行うかというもので、出席者の間でかなり鋭い意見の応酬があり、結論は持ち越しになりました。第23回会議は平成10年に本学が当番館となって開催される予定です。

続く3、4日の2日間は会場が県民ホールに変わって、国立大学図書館協議会総会が開催されました。こちらの方は全国国立大学99校の図書館長、事務（教務）部長、総務・情報管理・情報サービス・図書課長のほか文部省学術国際局や学術情報センター等の担当者も加わるため、参加者も300人を越えるという規模でちょっと壮観でした。

第1日の午前中は全体会議で、9つの委員会報告や協議等が行われ、午後に入って分科会が2会場に別れて開かれました。第1分科会は予算と人事に関するもので、8協議題、第2分科会は運営とサービスをテーマとする11の協議題についてそれぞれ討議が行われましたが、内容は両分科会に共通するものもあり、最新の電子通信技術の成果を取り入れた新しい情報サービスの在り方、電子図書館化への対応、図書館と学術情報センターとの協力体制、図書館間の文献複写や現物貸借サービス（ILL）の問題点、個性ある図書館への指向などのテーマに関心が集まりました。

第2日は午前中に研究集会が開かれ、5題の発表がありました。その中の一つは神戸大学図書館の阪神・淡路大震災関係資料の収集・公開・保存活動についての報告で、図書館自体が甚大な被害を蒙りながらも、一国立大学付属図書館がここまでやる（やれる）とは驚きで、その使命感には脱帽いたしました。もう一つは千葉大学図書館からで、図書館の自己点検・評価活動の一環として、学外の図書館関係の有識者による「第三者評価」を実施した報告です。評価の内容とその結果がどう活かされるのか、今後注目したいところです。午後は全体会議で議長団による総会のまとめが行われ、次回の第44回総会を京都大学が当番館で平成9年6月京都で開催することを決定しました。

館長として初の参加でもあり、どの程度正鵠を得ているのかわかりませんが、以下若干の感想を申しますと、一口に国立大学図書館と言っても協議会に加盟している図書館の歴史や規模、専門的な内容等には大きな相違があるので、総会の論議内容をそのまま本学図書館の運営に持ち込むわけにはいきませんが、

少なくとも日本の国立大学図書館全体の現状や抱える問題、動向等を把握しておくことは、本学図書館の今後の整備や充実、更には将来像を模索するのに必要なことであり、その意味で成果があったと思います。

第2に、言うまでもなく最先端の電子通信技術の導入により図書館機能の改革やサービスの向上を図ることは現代図書館に共通する最重要課題ですが、その実施に当たっては、規模の大小にもよりますが、多大の経費と人手を要するのも事実で、対応の仕方が問われることを痛感しました。また新しいシステムを導入すると同時に、従来の図書館機能に関しても、引き続き基盤を整備していかななくてはならないわけで、両者のバランスをとることも私どもの図書館の課題でしょう。

最後に、懇親会の席上知り合った館長諸氏から側聞したところでは本学図書館は利用者へのサービスの面では決して劣っていない、後発校としてはむしろいい線を行っていると感じられたことは嬉しいことでした。これまでの本学関係者の方々の地道なご努力に改めて敬意を表する次第です。

本学の図書館がさらにサービスのレベルを向上させ、小さいながらも特色のある優れた図書館に発展できますよう今後とも利用者の皆さんには図書館の運営に一層のご関心を寄せて下さることをお願いいたします。

### 開館時間の変更について（お知らせ）

下記の期間につきましては、蔵書点検等の作業を実施のため、時間外開館（午後5時～午後8時）を中止いたしますので、開館時間に変更になります。

利用者の皆様方のご協力をお願いいたします。

#### 記

#### 時間外開館の中止 による開館時間

8月14日（水）午前9時～午後5時まで

8月15日（木）午前9時～午後5時まで

8月16日（金）午前9時～午後5時まで

# 雑誌の動き

誌名変更

Genes & genetic systems

v. 71 (1996)-

図書館

Formerly: The Japanese journal of genetics

Spinal cord

v. 34 no.4 (1996) 図書館

Formerly: Paraplegia

## 図書館資料の現況

1. 受入図書冊数 (平成7年度)

1996.4.1現在

区分	購入	寄贈	製本	管理換	合計
和書	1,280	63	395	0	1,738
洋書	196	15	1,117	0	1,328
合計	1,476	78	1,512	0	3,066

2. 受入雑誌種数 (平成7年度)

3. 所蔵雑誌種数

	購入	寄贈・その他	合計
和書	221	264	485
洋書	443	43	486
合計	664	307	971

日本語	外国語	合計
1,014	1,080	2,094

4. 蔵書統計

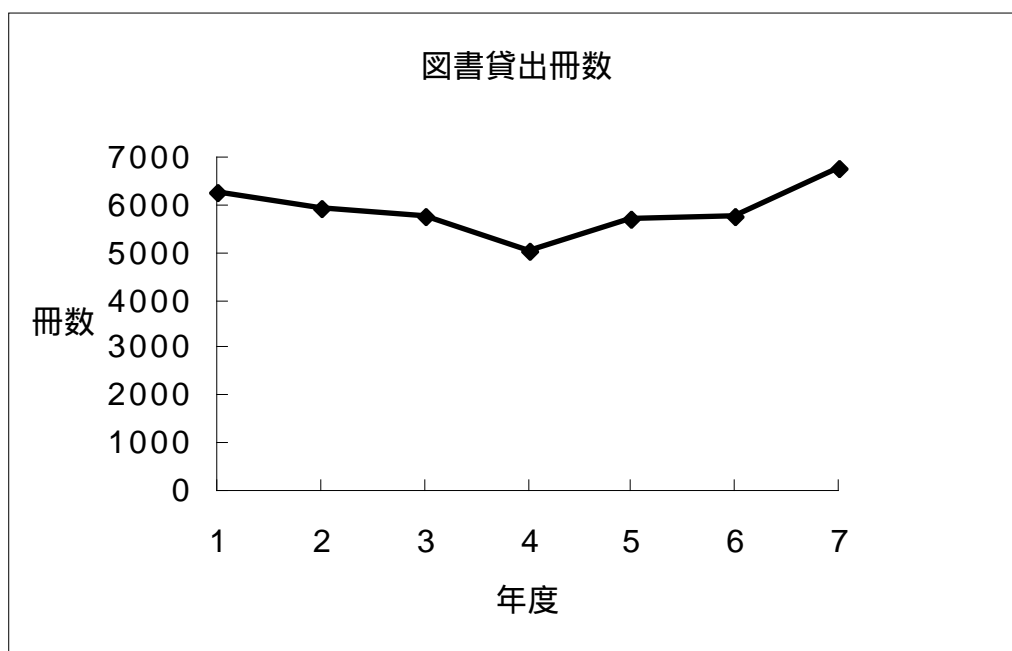
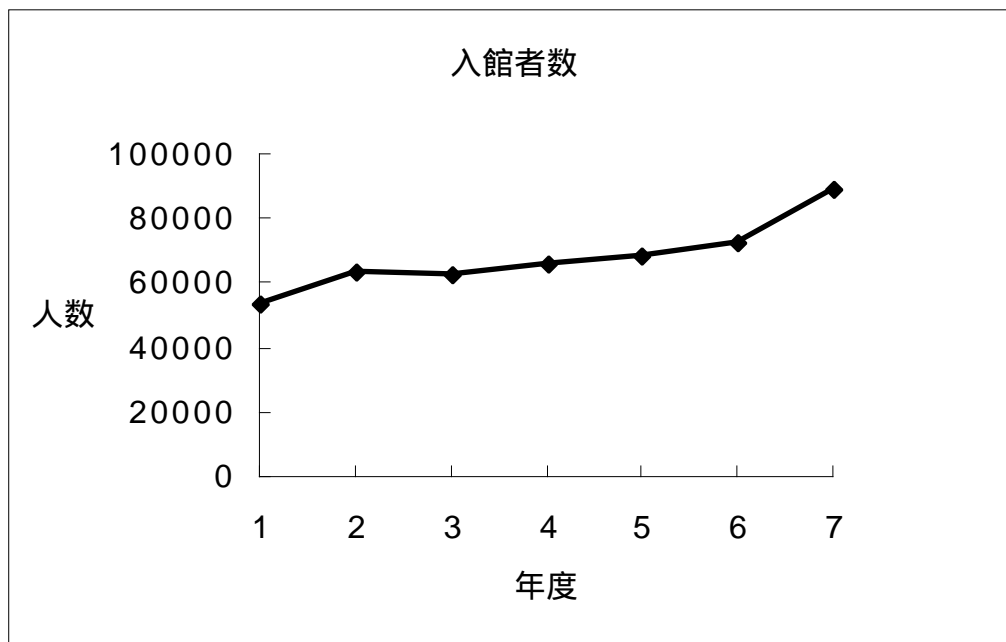
	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	合計
和	1,322	1,185	753	2,067	29,837	317	132	522	1,884	1,170	39,189
洋	667	337	215	529	35,836	126	74	123	2,262	1,349	41,518
計	1,989	1,522	968	2,596	65,673	443	206	645	4,146	2,519	80,707

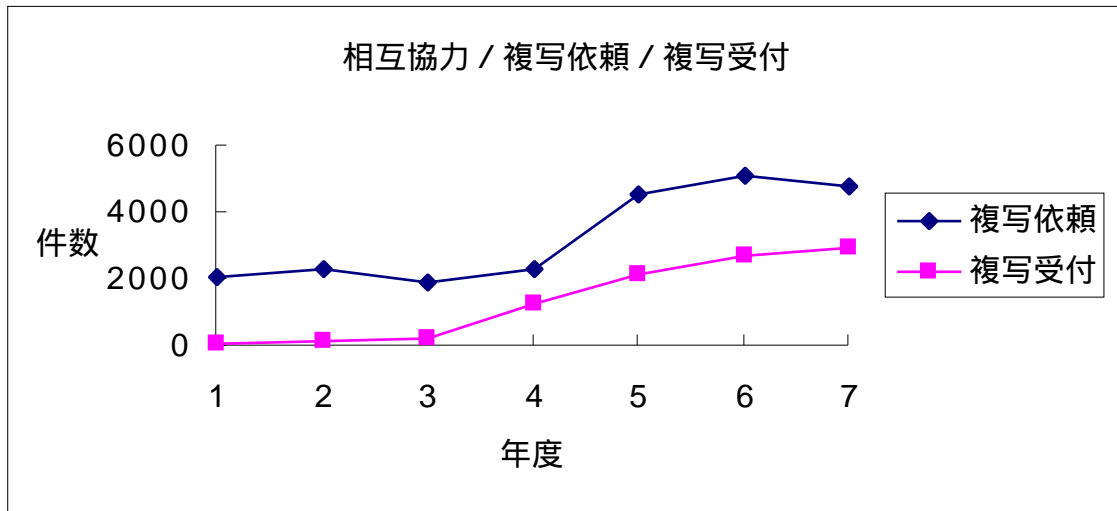


## 図表（統計）で見る図書館サービス

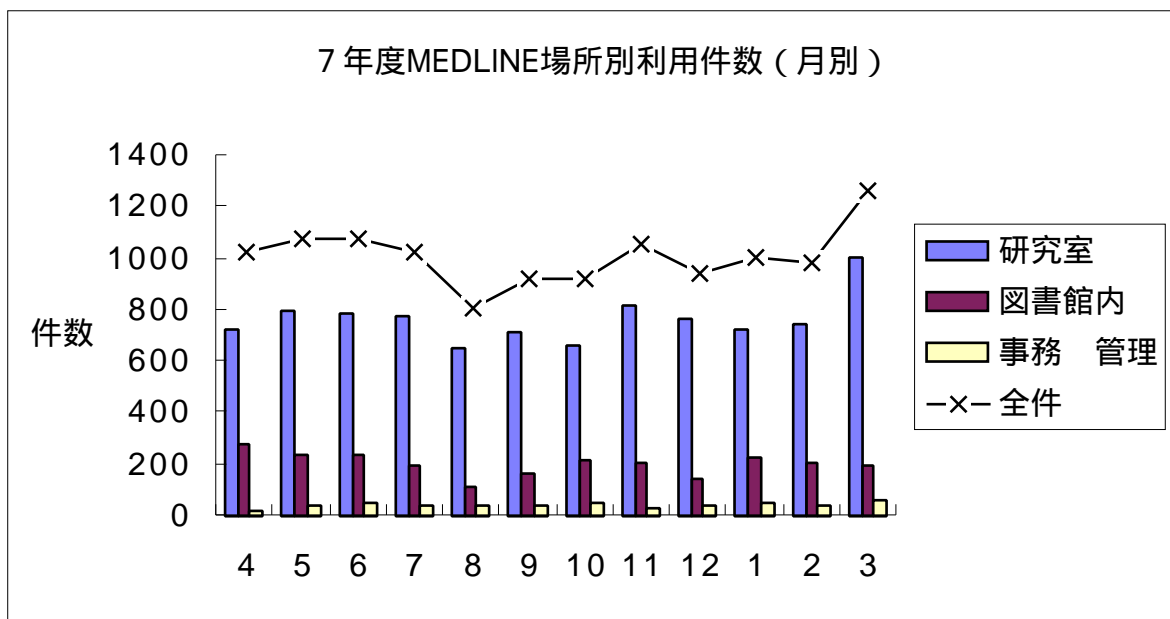
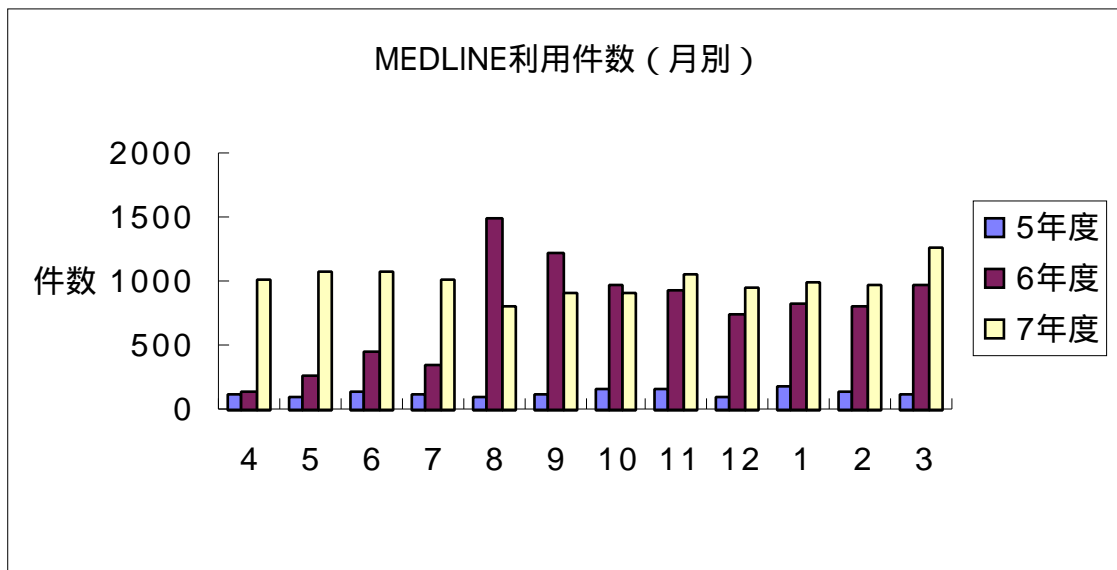
平成7年度末現在で、過去7年間（MEDLINEは3年間）の利用の動向についてグラフに表わしました。

この表から図書館の利用が、年度ごとに増加しているのがよくわかります。





複写受付：学外の図書館から依頼された文献を本学図書館から複写・送付  
 複写依頼：本学図書館から学外図書館へ文献複写を依頼



# Web版OPAC ( オンライン所蔵検索 ) の使い方

前回お知らせしたWeb版OPACの簡単な使い方を説明します。

1 ) 図書館ホームページの「OPAC (Online Public Access Catalog)」をクリックする。

2 ) LINUS/U蔵書検索システム画面が表示される。画面中程の図1の部分に検索したい項目を入力もしくは指定する。その後、検索開始ボタンをクリックする。(図1)

表示件数：指定した件数以上は表示されませんので注意してください。

検索開始ボタン

検索語：単語のうしろに\*をつけると前方一致になります。

**蔵書検索**

表示件数：  10  50  100  300  500  
検索種類：  和図書  洋図書  和雑誌  洋雑誌  全資料

検索を開始したい場合に押して下さい。  
 入力エリアをクリアしたい場合に押して下さい。

書名   
著者名   
出版者名   
件名   
キーワード

3 ) 次に簡略書誌 (図2) が表示される。

(図2)

**和図書簡略書誌**

検索項目：表題：循環器疾患\*/

検索結果：39件見つかりました。

書名 / 著者名 -- 出版社名, 出版年. --

1. 循環器疾患, 発見から管理まで / 秋山房雄[ほか]編 -- 全原出版, 1973. --
2. 循環器疾患ガイドンス / 荒川規矩男編著 -- 診断と治療社, 1976. --
3. 循環器疾患の臨床, 症例を中心として / 鷹津正著 -- 医学書院, 1981. --
4. 全国市町村別主要疾患死亡率の分布図, 全死因・がん・循環器疾患・糖 / 疾病の疫学分布研究班編集 -- 健康づくり振興財団, 1981. --

4 ) その中で見たい資料をクリックする。

5) その資料の書誌情報と所在情報が表示される。

(図3)

### 書誌情報

各項目の説明はこちらをご覧ください。

例) TR: 表題、Title

### 所在情報

巻次等: 同じ書名で上下に別れている場合、何巻かある場合などは「上」「第1巻」といった表示が入ります。すべての巻が揃っていないこともありますのでご注意ください!

請求記号: 図書館ではこの記号に基づいて書架に並べられています

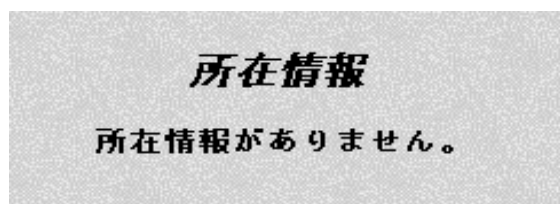
所在: 図書館内での配架場所、講座名がここに表示されます。

The screenshot shows a library record with two main sections: '書誌所在情報' (Bibliographic and Location Information) and '所在情報' (Location Information). The '書誌所在情報' section contains the following details: TXTL:jpn, TR:箱環器疾患ガイダンス / 荒川規矩男編著IIジュンカンキシッカンガイタ WG100, PUB:東京:診断と治療社, 1976, YEAR:1976, PHYS:327p; 27cm, AL:アラカワキクオ, and UTL:\*LICS <>. The '所在情報' section contains the text: 巻次等, 請求記号, 図書番号, 所在, 出版年, followed by the specific location: 1. , WG100, 0050540, 2階開架第三.

以上、検索画面 簡略書誌 書誌所在情報という流れで展開します。お試しください。

## OPAC Q&A

Q: ホームページのOPACで図書の検索をしましたが、「所在情報がありません」というコメントがついています。どういうことでしょうか。



A: キーワードを入力し検索すると、その結果まず簡略書誌が表示されます。次に探している資料をクリックすると「書誌所在情報」になります。ここで、「所在情報」が載っているはずなのですが、一部の資料についてはご質問のように情報がありません。この場合、資料は図書館にあるのですが、登録が済んでいないためまだ利用できないものということです。できるだけ早く利用していただけるよう作業を進めておりますのでご理解ください。



### 編集後記

オリンピック真っ盛りです。サッカーで日本が優勝候補のブラジルに1 - 0で勝ちました。あのロスタイムはハラハラドキドキで早く終わってほしいと思う気持ちが、時間に独特な長さを感じさせます。秒間は同じなのに早く感じたり遅く感じたりと、その人の気持ちの持ちようがそう感じさせるのでしょうか。この4月に図書館にきまして4ヵ月が経とうとしています。自分としては随分早い気がしますが、これが良いことなのか悪いことなのか分かりません。仕事も付き合いもこれからだと思っています。よろしくお願いします。

(H. U.)



編集 / 発行 山梨医科大学附属図書館			
<TEL>	直通	73 - 6732	整理係 内2108
	図書課長	内2106	学術情報係 内2109
	管理係	内2107	カウンター 内2110